

季刊 文教施設

facility of
education,
science, sports,
culture and
technology

96
2024 秋号

施設を通して教育・文化を考える専門情報誌



岩国市立東小学校・東中学校(山口県) 令和5年度優良学校施設表彰 優秀賞*

事例紹介

(一社)文教施設協会 優良学校施設表彰事業 令和5年度優良学校施設表彰校

岩国市立東小学校・東中学校(山口県)、板橋区立上板橋第二中学校(東京都)

松阪市立鎌田中学校(三重県)、川崎市立菅生小学校(神奈川県)

横浜共立学園中学校高等学校(神奈川県)、山梨県立青洲高等学校(山梨県)

連載

海外の学校建築の今

一人ひとりに合わせた学び環境をつくるスウェーデンの学校～個別最適な学びのための教室づくり～

国立教育政策研究所
文教施設研究センターの頁

「対話を通じた新しい学校空間づくりのプロセスに関する調査研究」報告書について

今日の話題

東京工業大学 教育施設環境創造センター主催 22nd 学校建築シンポジウム【後半】

特別寄稿

マックス・ヒンデルの学校建築

板橋区立上板橋第二中学校 (東京都)

発注/東京都板橋区



グラウンドから見る上板橋第二中学校遠景

「主体的な学びの場」と 「地域が支え、地域と共に学びあう教育の場」を実現する学校

設計主旨

令和4年に竣工、供用開始をした上板橋第二中学校においては、教科学習の充実、学びに向かう姿勢、共に学ぶ態度の育成を目指し、教科センター方式を採用して計画されました。その他、校舎の中心に設置されオープンで入りやすいメディアセンター（図書室）や、フリーアドレス対応可能な職員室、地域とのつながりを意識した設計等が特徴となっています。

教科センター方式では、教科教室と生徒たちの居場所となるホームベース、教科ごとに設けられた教科メディアスペースをセットで設けています。教科メディアスペースでは、関連する展示物等で生徒に関心を持ってもらい、生徒同士の議論、歓談のスペースとして活用し、主体的、協働的な学びを深めています。

オープンなメディアセンターについては、学校の中心で、子どもたちが多く行き来する、オープンな場所に本棚を設置し、子どもたちが本に触れやすく、目につきやすくすることで、子どもたちが自ら学ぶ環境の充実を図っています。

フリーアドレス対応可能な職員室については、フリーアドレス化により、日常的に教員同士のコミュニケーションが多様化するほか、常に座席が整理整頓され、業務の効率化も期待できます。

さらに、今回の改築工事は上板橋第二中学校と向原中学校を統合し、建設したものであり、統合にあたっては、

「地域が支え、地域と共に学びあう教育の場」をコンセプトとし、地域とのかかわりを意識した計画としました。その例として、地域活動に使うことが可能な広場（上二テラス）を配置し、校舎内にPTA活動室と学校支援地域本部の室を設ける等、地域の方が利用できるスペースを整備しています。

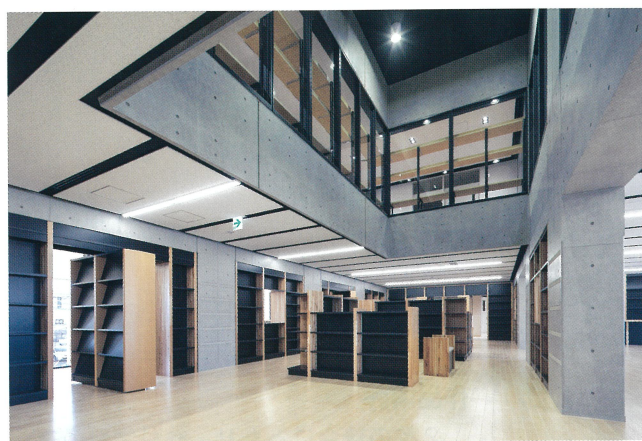
さらに、災害時の地域防災拠点としても配慮し、校庭にはマンホールトイレを設置するほか、停電時であってもポータブル発電機により、必要諸室の照明等に利用できる計画となっています。ゾーニング計画でも、アリーナを含め、災害時に使用が想定される調理室や家庭科室や炊き出し用のかまどベンチを北側にまとめることで、災害後の避難所運営と学校運営を両立できる配置としています。



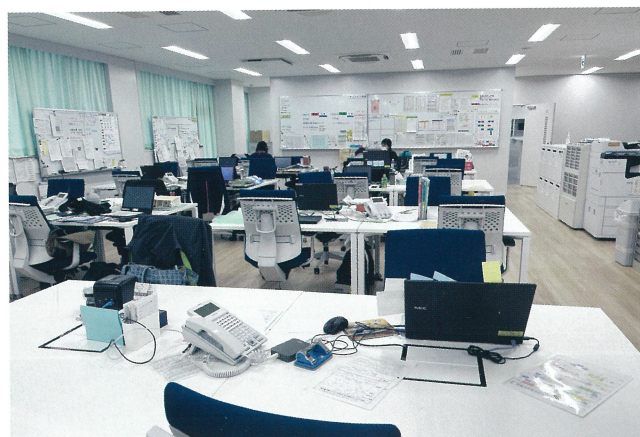
ホームベースと教室。生徒各自のロッカーを設置したホームベースと隣り合わせの教科教室（クラスルームや給食にも併用）



教室と教科メディアスペース。各教科教室前に自由な掲示ができる教科スペースを配置



オープンな図書館（メディアセンター）。校舎の中央に配置し生徒が多く行き来するオープンなスペースに本棚を設置



職員室。フリーアドレスにも対応でき事務室と一体的な空間の校務センター

施設概要

名称: 板橋区立上板橋第二中学校
所在地: 東京都板橋区向原三丁目1番12号
用途地域: 第一種中高層住居専用地域
建ぺい率: 34.65% (許容70.00%)
容積率: 77.31% (許容200.00%)
敷地面積: 12,132.56㎡
延べ床面積: 9,611.94㎡
構造形式/階数: 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造/地上5階
設計期間:
基本設計 2016年9月～2017年5月
実施設計 2017年6月～2018年3月
工事期間:
解体 2019年3月～2020年1月
校舎・アリーナ棟 2020年1月～2022年1月
環境整備 2021年7月～2022年3月
設計: 株式会社石本建築事務所 東京オフィス
監理: 株式会社石本建築事務所 東京オフィス
施工:
建築・環境整備 前田建設工業株式会社 東京建築支店
電気設備 渡部・アイコウ建設共同企業体

空調換気 第五・前野建設共同企業体
給排水衛生 池松・シルバー建設共同企業体
昇降機 日本エレベーター製造株式会社

主な外部仕上げ

屋根: アスファルト防水+押えコンクリート(BI-1工法)、一部アスファルト露出防水(D-1)、フッ素ガルバリウム鋼板(t=0.45mm)

外壁: コンクリート面防水型複層塗材E、一部コンクリート打放しの上、低汚染型高耐候性フッ素樹脂クリヤー

開口部: アルミサッシ(カラー)、鋼製建具(DP塗装)

主な内部仕上げ

天井: 岩綿吸音板
壁: 石膏ボード+EP-G、木質掲示板
床: ビニル床タイル

(ワックスフリー、木目)

電気設備: 受変電設備: 屋外型キュービクル(トップランナー2014変圧器

第二次判断基準適合)、太陽光発電設備: 単結晶系シリコン太陽電池 設備容量20kW、照明設備: LED照明器具、人感センサー

空調設備: 個別空調方式(GHPマルチ空調、EHPマルチ空調)、個別換気設備、全熱交換換気設備、個別加湿設備
衛生設備: 給水: 直結、加圧給水方式、給湯: 局所給湯方式(潜熱回収型ガス給湯器、電気温水器)、排水: 屋内分流方式、災害用マンホールトイレ、ガス: 給湯器、コンロ、空調熱源、厨房調理機器

その他(特殊設備・外構等):

災害用マンホールトイレ、防災無線設備 乗用エレベーター: 13人乗積載荷重900kg 車いす対応トランク付×1基、小荷物専用昇降機: 積載荷重 300kg×1基



体育館内観。北側近隣に配慮し屋根に勾配を付け鉄骨の接合部のボルトをなくすため現場溶接した大梁



トイレ。認識しやすいピクトサインと多様性にも配慮した男女兼用のバリアフリートイレを各階に配置

作品講評

2校の統合にあたり、教科学習の充実、学びに向かう姿勢、共に学ぶ態度の育成を目標として教科センター方式を採用して計画された。教科メディアスペース、居場所となるホームベースが光庭を組み合わせることで実現され、限られた面積、高低差の大きい敷地条件に対し、配置を工夫して運動場面積を確保し、周囲に開かれた景観としている。設置者の学校施設に対する明確な意図が感じられる。

令和5年度優良学校施設表彰 受賞にあたって／板橋区教育委員会

このたび、平成26年度から計画を進め、改築工事が完了し令和4年度から供用開始しました板橋区立上板橋第二中学校の優良学校施設表彰部門賞「新しい教育環境」の受賞を大変喜ばしく思います。本計画は学校施設の老朽化と学校の適正規模・適正配置について考え、教育環境を向上させていくことを目的に、平成26年7月より「魅力ある学校づくり協議会」として始まり、1年8か月、計16回にわたり保護者、地域関係者、学校関係者を中心に協議を重ねてまいりました。本校を設置する敷地は、昭和34年度に向原中学校として開校してから約60年間、地域にも支えられてきた場所になります。統合にあたっては、旧向原中学校の歴史を残しつつも新しい上板橋第二中学校としてふさわしい、地域とのかかわりを意識した計画となっています。

今後も生徒が充実した学校生活を送れ、さらに地域の方々に親しまれるような学校づくりに努めていくとともに、時代時代のニーズを取り入れつつ、引き続き、安心安全で、より良い教育環境の整備を進めていきます。